

No.5

在宅療養者の災害発生時の「家での暮らし」を支える拡張現実型アクションシミュレーターの提案

1.2 億円程度
(事業期間3年間)

首都直下型地震や風水害などの災害発生時に、さまざまな疾患や障がいとともに暮らす在宅療養者の生命・安全を守り、災害に強い在宅ケア体制を構築するための、**ケア提供者向け拡張現実型アクションシミュレーターを開発・実装**します。

ケア提供者向け：災害発生時の「家での暮らし」を支えるアクションシミュレーターの開発

アクションシミュレーターと自己学習用e-learningアプリを利用した在宅ケア提供者向け災害発生時行動訓練の実施

災害に強い在宅ケア体制の構築により、**災害でも安心な東京を実現**

在宅療養者を支える都内ケア提供者のニーズ

都内で暮らす在宅療養者のニーズ

いつでもどこでも

何度も繰り返し

リアルな体験学習が可能



災害発生時に在宅に居合わせたケア提供者がとるべき行動を習得

○ アクションシミュレーターで、災害発生時の「家での暮らし」を再現/学習

- 世界に先駆け、災害発生時の「家での暮らし」について学習可能な拡張現実型アクションシミュレーターを開発し、在宅療養者を支えるケア提供者（訪問看護師、居宅介護支援専門員、介護福祉士など）の、適切なケア・行動を促進します。

○ 災害に強い在宅ケア体制の構築により、「災害でも安心な東京」を実現

- ケア提供者が、災害発生時に在宅療養者宅に居合わせた場合に必要となる知識・態度・行動・自信を獲得できれば、在宅療養者とケア提供者双方の生命・安全を守ることができます。

事業実施による効果

- 疾患や障がいとともに自宅で療養する都民に必要な災害発生時のケア・行動を、ケア提供者が獲得することで、災害が起きても安心して暮らすことのできる東京を実現